

旧海軍大社基地関連施設群に関する状況について

旧海軍大社基地関連施設群の状況を、下記のとおり報告します。

記

1. 調査の状況について

①事業者所有地滑走路跡記録調査（昨年12月に実施）

出雲弥生の森博物館ギャラリー展「いつまでも戦後でありたい2022」で調査成果を公開しています。

（10月30日（日）関連講演会開催予定。会期は10月31日まで）

②市道斐川2268号線整備予定地の滑走路跡記録調査

・滑走路の構造及び築造方法に関する記録をとるため、コンクリート断面の精査・実測・撮影を行っています。

・地元出西地区住民及び一般を対象とした調査現場見学会を開催しました。

日 時：9月4日（日）9～10時、10時30分～11時30分

場 所：市道整備予定地

参加人数：73人（市内43人、県内市外25人、県外5人）

③関連施設群総合調査（滑走路跡、物資保管壕、^{えんたい}掩体、国民学校跡）

・スケジュール（案）

令和4～5年度 調査検討部会設置、調査範囲や対象の検討、調査計画策定

令和5～8年度 予備調査、総合調査（令和7年度は戦後80年）

令和9年度 総合調査報告書作成・刊行

・調査内容（案）

戦争当時の状況の聞き取り、文献記録調査（古写真含む）、滑走路跡調査、

掩体・保管壕等の分布調査、建造物調査（国民学校、爆弾庫等）、

戦争当時の物品資料調査、他の類似施設との比較 等

2. 島根史学会他からの要望と市の対応

要 望	市の対応
滑走路跡南側市道予定地を重要な文化財として保存すること。その際、市文化財保護審議会委員や各専門家の意見を尊重すること。 市道整備と滑走路跡の保存の両立を目指すこと。	市道斐川2268号線は、旧斐川町において町道（市道）認定され、このたびの開発事業に伴い道路整備を行う。 一方、市道整備工事と調整を図りながら、整備予定部分の記録調査を行っている。さらに、関連施設群の全体像を把握するための総合調査を行う予定。適時、市文化財保護審議会委員等に助言を求めている。

要 望	市の対応
ソーラーパネル用地や、県道木次直江停車場線東の都市計画道路予定地及び市有地について、滑走路建設当時の原状を遺している部分として、保存計画を策定すること。	総合調査の中で、位置付け及び今後の活用について検討する。

3. 歴史学習の場の確保について

滑走路跡の一部を歴史学習の場として残し活用することについて、8月末を目途とし事業者との協議を行っていました。しかし現時点において市有地との交換における事項の調整に時間を要する状況であることから、引き続き協議を続けることとしました。今後の協議の状況については、適宜議会への報告を行います。